

ワーグナー
「トリスタンとイゾルデ」

RICHARD WAGNER

Tristan und Isolde

2015.9.6 & 13, Suntory Hall

読売日本交響楽団 第551回 定期演奏会

2015年 9月6日(日) 15時開演 | 途中2回休憩 | 20時終演予定 |
The 551st Subscription Concert
Sunday, 6 September 15:00 / Suntory Hall

読売日本交響楽団 第585回 サントリーホール名曲シリーズ

2015年 9月13日(日) 15時開演 | 途中2回休憩 | 20時終演予定 |
The 585th Suntory Hall Popular Series
Sunday, 13 September 15:00 / Suntory Hall

サントリーホール

4月18日(土)から一般発売!

S¥12,300 / A¥10,200 / B¥8,200 / C¥5,100

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001
●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択してチケットをご購入いただけます(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)。
*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド：チケットぴあ、サントリーホールチケットセンター

●学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥3,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
●団体割引：読響チケットセンターにて同一公演の1回券を10枚以上まとめてお求めになった方に団体割引をいたします。
●都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。
●未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

<http://yomikyo.or.jp/>

RICHARD WAGNER

Tristan und Isolde

SYLVAIN CAMBRELING

3 Acts in Concert Style
with Japanese Supertitles

R.ワグナー：楽劇「トリスタンとイゾルデ」(全3幕／演奏会形式・字幕付き)

指揮：シルヴァン・カンブルラン (読響常任指揮者)

独唱：エリン・ケイヴス(トリスタン)、クリスティアーネ・イーヴェン(イゾルデ)、アッティラ・ユン(マルケ)、クラウディア・マーンケ(ブランゲーネ)、石野 繁生(クルヴェナル)、アンドレ・モルシュ(メロート)、与儀 巧(牧童、舵手、若い水夫) 男声合唱：新国立劇場合唱団

世界最先端の《トリスタン》への期待

ついにカンブルランと読響がオペラの全曲演奏を聴かせてくれる！このコンビが2010年に始まって以来ずっと待ち続けてきた文字どおり待望の企画である。しかも選ばれた作品がオペラ史上にそびえる名作中の名作、究極の愛と死の楽劇《トリスタンとイゾルデ》だから、これはもう堪らない。

カンブルランがオペラ指揮者としてもヨーロッパで大活躍してきたことは、よく知られている。ザルツブルク音楽祭では、1992年から2001年にかけてモーツァルトの《フィガロの結婚》からベルリオズの超大作《トロイ人》やベリオの新作の世界初演まで、10年間に10本の新演出公演を含む12本のオペラを指揮して、名門音楽祭のオペラ部門の大黒柱の役割を果たした。また、それ以前には若くしてブリュッセルのモネ劇場の音楽監督をつとめ、すでに1985年に同劇場で《トリスタン》を指揮している。

そして昨年、2014年7月に、カンブルランは、音楽総監督を現任つとめるシュトゥットガルト歌劇場で、またも《トリスタン》の新演出上演に取り組んだ。カンブルランの「全力を傾注した」指

岩下 真好(慶應義塾大学教授／音楽評論家)

揮は「明晰で透明かつ流麗」。「強弱と音色の繊細なニュアンス」が「歌詞との緊密な連関」を生み出し、「暗示に富み、ドラマ的な吸引力のある」演奏が実現したと地元の新聞(シュトゥットガルト・ナーハリヒテン)は絶賛した。

来る9月の読響との公演は、このシュトゥットガルト公演の延長線上にある。彼の地と同様に東京でも、カンブルランならではのシャープで鮮烈な《トリスタン》が期待される。カンブルランの指揮で今や抜群の総合力を発揮する読響であるだけに、オーケストラが大きな聴きものとなるのは必至だ。

歌手陣にも不足はない。シュトゥットガルトで好評を博した顔ぶれが、ほぼそのまま舞台に立つ。多彩な音色と絶妙な弱音美を駆使した瑞々しい歌唱が大評判だったイゾルデ役のクリスティアーネ・イーヴェン。真実味あるトリスタンと歓迎されたエリン・ケイヴス。石野繁生のクルヴェナルも高い評価を獲得していた。

この秋、東京で世界最先端の優れた《トリスタンとイゾルデ》が聴けることは間違いない。



常任指揮者

シルヴァン・カンブルラン

1948年、フランス・アミアン生まれ。2010年から読響常任指揮者を務め、色彩豊かな音楽作りで日本の観客を魅了している名匠。読響との充実した活動は既に高い評価を得ている。現在、世界有数のオペラハウスであるシュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督を務めるほか、クラングフォーラム・ウィーン的首席客演指揮者も兼任している。ベルギー王立モネ歌劇場、フランクフルト歌劇場の音楽総監督、バーデンバーデン&フライブルクSWR響の首席指揮者を歴任。ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ミュンヘン・フィルなどの世界の一流オーケストラに客演するほか、ザルツブルク音楽祭、メトロポリタン・オペラ、パリ・オペラ座などでも活躍している。

トリスタン

エリン・ケイヴス

近年、欧州のオペラ界で注目を集める新鋭テノール。2008年にワイマール国民劇場で〈ラインの黄金〉のローゲ、〈ワルキューレ〉のジークムントを歌い大きな話題となった。以後、ベルリン国立歌劇場、チューリヒ歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、エッセン歌劇場、バーゼル歌劇場などに出演している。2014年にシュトゥットガルト歌劇場でトリスタン役を初めて歌い、絶賛を博した。



マルケ

アッティラ・ユン

バイロイト音楽祭などで歌う稀代のワグナー・バス。1998年、シュトゥットガルト歌劇場でヨーロッパ・デビュー。同年、シノーポリ指揮ローマ歌劇場〈ワルキューレ〉のフンディングで一躍注目を集めた。以来、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ハンブルク国立歌劇場、英国ロイヤル・オペラ、リセウ大劇場などで活躍している。



クルヴェナル

石野 繁生

幅広いレパートリーで活躍する名バリトン。スイス各地で宗教曲のソリストとして活躍し、バーゼル歌劇場、ハノーファー歌劇場の専属歌手を歴任。2006年からシュトゥットガルト歌劇場の専属歌手を務めている。日本でもN響、びわ湖ホールなどで活躍。



牧童、舵手、若い水夫

与儀 巧

輝かしく伸びやかな美声を持つ期待のテノール。国立音楽大学卒業、同大学院修了後、ボローニャに留学。東京音楽コンクール第1位。二期会〈イドメネオ〉出演など目覚ましい活躍を遂げている。2012年12月カンブルラン指揮〈第九〉で読響と共演し好評を得た。二期会会員



【あらすじ】コーンウォールのマルケ王の甥、騎士トリスタンは、アイルランドの王女イゾルデを王の妃として連れ帰ることにする。航海中、二人はかつてお互いを愛した罪の意識から、毒薬で心中を図るが、王女の侍女ブランゲーネが毒薬を罠薬にすりかえたために、二人は激しい恋に落ちる。イゾルデが王妃となった後も、二人は逢瀬を重ねるが、密会の場所を王に見つかり、トリスタンは王の家臣メロートの剣により深い傷を負う。トリスタンは故郷の城に戻りイゾルデを待つが、ようやく到着した彼女の腕の中で息を引き取る。イゾルデも彼を追い愛の死を迎える。

イゾルデ

クリスティアーネ・イーヴェン

シュトゥットガルト歌劇場で長年専属歌手を務める歌姫。マンハイム国立歌劇場、ハノーファー歌劇場の専属歌手を歴任し、幅広いレパートリーを誇る。ローマ歌劇場、デンマーク王立歌劇場など著名な歌劇場に客演。アーノンクール、ルイジらの指揮で、ミュンヘン・フィルやロイヤル・コンセルトヘボウ管などと共演している。2014年にシュトゥットガルト歌劇場でイゾルデ役を初めて歌い、成功を収めた。



ブランゲーネ

クラウディア・マーンケ

2013年からバイロイト音楽祭で主要な役を務める本格派アルト歌手。2006年からフランクフルト歌劇場専属歌手を務めている。ベルリン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、サンフランシスコ・オペラなどに客演。フランクフルト歌劇場、ルール・トリエンナーレ、ヒューストン歌劇場などでブランゲーネ役を歌い、好評を博している。



メロート

アンドレ・モルシュ

2011年よりシュトゥットガルト歌劇場の専属歌手を務める若手実力派。チューリッヒ歌劇場、アムステルダム歌劇場、パリ・オペラコミック座、ライプツィヒ歌劇場などにも客演。宗教曲でもロイヤル・コンセルトヘボウ管などと共演している。



男声合唱

新国立劇場合唱団

2007年以降、〈第九〉をはじめ定期演奏会などで共演を重ねる読響のベストパートナー。1997年に新国立劇場が開場して以来、数多くのオペラ公演で活躍し、日本を代表する合唱団として確固たる地位を築いている。

©Peter Adamik